

件 名	第1回松崎地区駅前活性化協議会
日 時	2018年5月22日(火)19:00～20:00
場 所	総合相談センターどれみ
出席者	協議会委員:谷口、本庄、川崎、立木、岸田、速水、北村、遠藤、藤原、山根、澤 (敬称略) 湯梨浜町役場:遠藤室長、嶋田 地域おこし協力隊:中河 まちづくり株式会社:川田、牧野
決定事項 (合意事項)	
次回までの 調整事項	
配布資料	第1回松崎地区駅前活性化協議会レジュメ

1. 会長あいさつ

(会長) 平成30年度はこのAコープの関係が秋頃と聞いておりますが、その辺りをしながら、役場、まちづくり会社と地域と連携して、皆さんと一緒に協議会を活動展開していきたいと思いますので、引き続きご協力の方をお願いします。

2. 議事

(1) 旧Aコープ・総合相談センターどれみの状況について

(事務局)資料1、2-1、2-2までで、旧Aコープ・総合相談センターどれみの状況についてという事で、簡単に説明させていただきます。まず資料1ですが、旧Aコープの平面図を付けております。まだ、設計の方は確定して上がって来ていませんが、レイアウトの方は固まったという事で簡単にご説明させていただきます。以前からご説明している通り、中を広く使えるようなレイアウトを変更できるような場所になっている状況ですが、以前からの変更点からいきますと、以前は左の方に卓球室があったんですが、卓球室を鍵の閉まる独立した場所になるようにという事でマルシェの部分に持って来て、必要のないときは鍵を閉めて、中の物が外に見えないような形で、マルシェを独立した部屋になるように変更しています。卓球は広く使える多目的スペースでやっていくような形で、その部分だけの変更になっていますが、その他は特に変更がなく以前からご紹介しているような場所になっています。設計の方がもう近々終わる予定で、夏前くらいには工事の発注をやりたいと考えています。次に総合相談センターどれみの状況についてという事ですが、資料2-1の方に町報の5月号で紹介したものを付けております。4月22日に皆さんにもご協力いただいて開所式と内覧式を行いました。どれみの方は休館日が毎週火曜日と年末年始という事で、夜も使用可能な施設になっています。お試し住宅まつぎき屋の方は、予約をいただければどれみの方で鍵を借りて利用することが可能です。これは、県外の方に使っていただきたいという事で、県外にいるんだけど町内出身という方でも使っていただけるので、里帰りの時にでも使っていただいて大丈夫だと思います。まつぎき屋の方はちょくちょく予約が入っている状態です。4月22日の開所式と内覧会の時に、駅前活性化協議会の活動の一部として、委員の方にお世話になって、プランターの方を用意いただきました。ありがとうございました。今後は軽トラ市に向けてもう少し数を増やして、おいていただけるという事で、またお世話になります。資料2-2の方を見ていただきますと、まちづくり会社の方が作った、チラシです、広報の6月号と一緒に配布する予定で、今作成しているところです。まだ予定の方はあまり埋まってははいないんですけど、役場の職員が、総合相談センターの一部という事で、福祉の相談日、介護の相談日、子育て相談日、健康相談日という事で、各担当課が月1回来るようにはなっています。毎週月・水・金曜日には、ラジオ体操とヨガをビデオを流

しながらされるというような事も考えておられますし、看護師さんを毎日月曜日から金曜日まで常駐されていて、体組生計や血圧を使って健康相談にもものってくださいというような事で言っています。どれみの使い方なんですけども、町内の方については、公民館と同じように使っていただけたらいいと思います。利用料金は書いてあります。

(事務局)基本的には料金は決まってるということ。

(事務局)基本的にはアロハホールの施設をお借りになる時と同じだと考えていただければと思っています。

(事務局)はい、以上です。

(事務局)補足をさせていただきますが、この会の中で足湯の検討をしていただいていたと思います。今段階でいいますと、町では予算をつけております。ただ、足湯は温泉組合の管轄になりますので、組合長の方にはなんとかいい方向で許可をいただけないかとお願いしているところです。組合長自体は前向きに協力していただくスタンスで、総会なり自治会など迎えられるという事なので、その返事待ちです。その了解が得られましたら足湯については、まだ場所は未定ですが、Aコープの軒下ということで考えたいと思っています。まだ温泉の方の管理組合からの了解は得られていないという状況ですが、前向きに進んでいるという状況です。

(会長)どれみの関係でなにか補足することがあれば。

(事務局)どれみは今レンタルスペースという事で、ここを活用してにぎわいづくりという事で、利用者の方を募集しているんですけど、まずは皆さんにこの事を知っていただくという事で、月・水・金の朝9時くらいから、ここで定期的にラジオ体操とソフトヨガをビデオを流しながら、講師の先生はいないんですけど、テレビ画面を見ながらやっていくような感じで、お試しで始めるようにしています。マットも準備して参加しやすいようにしておりますので、お声掛けしていただいて、利用していただけたらと思っています。

(会長)どれみの関係で、まずもってこの旧Aコープの関係を7月ごろの発注や着工になっていますが、今の所の竣工予定はいつ頃なのか、最新の状況を教えてください。

(事務局)まだ設計が固まってない状態なんで、なんともいえないんですが、町の希望としましては6月くらいに入札をかけて、それからだと考えています。竣工については、要望ではありますが11月ぐらいにはと思っていますが、設計事務所などの範疇の中では、多少期間も必要だという事を聞いております。町は早めに作ってほしいと思っていますが、業者が決まりましたら、お願いしたいなあとと思っています。

(会長)早くて11月ごろ？

(事務局)はい、そうなると思います。

(会長)大きな変更と言えば右横奥をマルシェ部分にという事ですね。卓球スペースについては今の所

(事務局)真ん中の多目的スペースです。2台は十分入ります。

(会長)3台かってありましたよね。マルシェ関係のところはよろしいですか、この変更点？それと、どれみも、何をしているかよく分からないと、住民の声があったようですが、その辺のPRはどうしていかうかという考えはありますか。

(事務局)とりあえず初めの3ヶ月くらいは、東郷地区にチラシを、先ほど資料2-2にカレンダーがりましたが、これを6、7、8月の3ヶ月くらいは折り込みを入れさせていただいて、行事が分かるものを皆さんの方に配ってみたいと思っています。

(会長)折り込みはどういう方法ですか？

(事務局)町報です。

(会長)という事は、今日のところで言えるのはある程度区長さん方にお世話にならないといけない事が、どういう風に理解が進めてあるのかと。

(事務局)町報の中に入れて込んで配らせていただきますので。町報の配布と一緒にです。

(委員)東郷地域だけ？

(事務局)全町です。

(事務局)施設自体は東郷というイメージがあるんですけど、やはり町の施設だという事を知らしめておかないといけないと思います。

(会長)6、7、8の3ヶ月？

(事務局)とりあえずは、3ヶ月入れて様子を見ようかと。

(事務局)軽トラ市の日もこのどれみで、月水金のソフトヨガを模擬ですという事ですし、ちょっと新しいことを考えてみようかと思われている方もあるみたいで、その辺りを相談しながら進めていきたいと思います。どんどん使っていただければ…。

(会長)看護師さんが、月～金になってますけど、土日は来られないという事ですか？

(事務局)土日もしらっしゃいます。

(委員)この資料は毎週月～金になってますが。

(事務局)間違ってますね。看護師さんは火曜定休以外は、開いている日は毎日常駐されますので、毎日ですね、これ。火曜日以外に訂正しておきます。

(事務局)もう印刷されているとか。

(事務局)えっ、まずいですね。まあ、これは少ない方だから、反対だったら、まずいですけど。ちょっと7月の分からは、変更するようにします。

(会長)土日もあるんですね。

(事務局)土日祝日も来られます。(資料は)僕も見たんですが、みんなが見落とししましたね。

(会長)そういう事で、今日と今後の27日にはさらにPRをしていただくと、言う形ですので。では、当面は町報折り込みと27日のイベントでやるというお話です。それと、レンタルの件で、今日みたいな時は鍵は誰が管理しているかという事なんですけど、そういう所に不安があります。夜みんなが20分くらい待ったと、ほんとで予約しても使えるかどうか不安ですね。誰が鍵を管理しているのかきちんとしてもらいたい。というのをお願いしたいと思います。ですから、夜使えますけど、誰が管理人で、どういう風になっているのかどうかというのは、何か使うのが不安です。ほんとに開いているのかどうかという事を是非、このレンタルする時に安心して使えるような体制を構築していただきたい。

(事務局)夜とか通常の時間帯以外、土日とかには、パートさんがいらっしゃいますし、今日は参加者の一人が持っているはずだったので…。

(会長)借りる時は職員さんが残られるんですか？

(事務局)職員か別の誰か代わりの者がおりますので。

(事務局)これからまた合鍵作られるんですよ。

(事務局)事故とかあって対応できない時に他の者でも対応できるようにしますので。

(委員)この(看護師常駐の時間)書き方見ると火曜日も営業日みたいになるみたいだ。

(事務局)ここはちょっと勘違いされないように表現を変えます。

(委員)夜の時間を書いてもらったら。

(会長)夜、何時まで？普通は17:00だけど、使用の申し込みがあったら、21:00までOKという話ですね。それは、どこにかいてあるんですか？

(事務局)ここに書いてあります。

(会長)これ見ると営業でなかったら使用料が無料という事ですか？

(事務局)営利を目的とする場合は一人あたり1,000円いただくという事です。

(会長)無料という時はどういう時が無料なんですか？協議会とか、そういう定義とか、どういう行事が、

今日みたいな協議会とか。

(事務局)町が主催だったり、まちづくり会社と共催で何かされるとか、という場合に無料になると思います。

(会長)自主防災会とか？

(事務局)自主防災会も、まちづくり会社と協力してということであれば…。

(委員)団体の主旨でないかと。仲良しグループの場合は有料で、町民全員に呼びかけて何かしますよの場合は無料で、会員が決まっていて、会員の中でするのは、有料でなど。

(事務局)会議室をこういう風に借りられずに、隅の方でされるというのは無料で…。

(会長)旭区が使うのだったらOK？旭区がここで何か使うとかも？

(委員)公民館で出来ることは、公民館でないと。

(会長)ここを使えと言う話もあるし、何か、自主防災会や協議会をなぜここですか、公民館でもいいじゃないかというその辺のところが。

(事務局)難しいところですが、単純に町の施設という事になると、部落などは有料になる場合があります。

(委員)公民館は、公民館があるわけだから、旭区なんかはあっちで

(会長)協議会なんかはこっちですればいいのか、あっちですればいいのか。

(委員)協議会はここでもいいのでは、目的があるので。区の主催というのは、区の公民館でそっちを使ってもらおうと。

(会長)まあ、ある程度は、はい。

(委員)飲酒は禁止だね？

(事務局)飲食はいいですけど。

(会長)どんどん使ってもらう事を考えていかないといけない気がします。役場がされる教室は、福祉と介護と子育て、健康、これは4回ですか？

(事務局)月1回ずつ。4回です。

(会長)それは、固定ですか？

(事務局)はい。毎月固定で。

(会長)毎月固定の曜日で行うと。この宣伝はこれだけですか？他にない？

(事務局)そうですね、これですね。

(委員)暖房冷房料金がいるんですね、これ。

(事務局)そうですね。

(委員)冷暖房を利用する場合は、2割に該当する料金を加算します、

(事務局)要らない時期ならいいですね。

(事務局)アロハホールの会議室の利用体系と合わせてありますので、どうしてもいりますね。

(会長)わかりました。よろしいでしょうか。どしどし使っていただくという事がどうしても大切なので、よろしくお願いします。

(2) 平成29年度協議事項の現状と今後の見通しについて

(会長)次に平成29年度協議事項の現状と今後の見通しにつきまして、これにつきましては、資料の3-1、松崎駅前活性化協議会を、平成28年10月20日設置しまして、以降1年半、開催してまいりました、会員役員は16名という事で、平成28年度が6回、平成29年度が10回という事で、グループ会議は別途分科会を開催したという事で、これに関しては委員からも提案がございまして、無報酬という事で分科会の方も開催してきたという事でありまして。協議会では、旧Aコープのあり方を検討してきた他、地域の現状や資源の洗い出しなど4つのテーマの分科会を開催してき

ました。株主コミュニティ関係、駅周辺の活用について、イベント、情報発信、足湯と分けて協議会を進めて、平成30年度は、環境整備の計画を作成し、まちづくり会社、役場と連携し計画を進めることとしました、という事です。今のところまでよろしいですか。30年度の計画につきましては、分科会、協議会、松崎駅前商店街再生のためのブランディング計画、景観づくりや継続可能なイベントの開催方法の検討協議しながら進めていきたいと、予算につきましては、まちづくり会社への指定管理費等を活用していくが、景観等進めるなど、継続可能なイベントの維持など効果的に活用していく必要があるという形にしています。最初にプランのある駅周辺の活用について、事務局の方から、プランターで町中を飾ろうとご提案をいただこうと思います。資料を添付しておりますのでよろしくお願いします。

(事務局)資料3-2の方をご覧ください。松崎駅前花いっぱい運動という事でネーミングも案ですが、先般4月22日以降、協議会の委員が中心になって、松崎駅前活性化協議会がどれみみプランターを置くという活動をしていただいております。春の花をどれみみオープンの時と、軽トラ市の開催の時に植えていただいて、今度、春の花が終わって、植え替えをするときに寄せ植え講座をしようじゃないかという所で計画をしています。まだ秋の話ですので日程等は書いていませんが、松崎駅前を花いっぱいにしませんかという運動をしていますよ、という事を軽トラ市でPR出来ればとチラシを作りました。方法としましては、お家にあるプランターを持ってきていただいて、寄せ植えの花を協議会の方で準備して寄せ植えをして皆さんに持って帰っていただいて何かイベントがある時は、プランターを貸していただくというような方法をとったらどうだろうかという事で考えています。何か補足があれば。

(委員)別にありませんけど。イベントをした時に、約束事で、各自が持ってきてくださいよ、イベント中お借りしますよ、とした方が皆さんの負担も少なく済むと思うんです。誰かが管理するって事にするよりは、コストも安く抑えられますし、その方がいいのではないかと提案しました。

(事務局)はい、ありがとうございます。軽トラ市の時にチラシが配れればと思っています。

(会長)時期的には、秋をターゲットにしてあるんですね。

(事務局)春は、委員の方でプランターを作っていただきましたので、それに加えて家からプランターを持ってきていただいて、寄せ植え講座を秋にしますよ、というお知らせです。

(会長)チラシはどんな形で配りますか？

(事務局)どんな形で配りましょうか？

(会長)実は軽トラ市のレイアウトの関係でチラシをもう少しアレンジして1枚ものを作ろうと思っていて、それに花いっぱい運動を入れて、一緒に配ってもいいし、これを白黒ですけど、300枚くらい準備してもらってと思いまして、それをもし良かったら配ってもらったらなあと思いまして。配る人が入口にいますけど、現地がいいかどっちにします？入口かプランターの前か？

(事務局)入口で一緒に配ってもらった方が、良いと思います。

(会長)それでは、折角ですから、これを少し大きくして、看板でも作って、プランターの前において、チラシを配ったらどうでしょうか。300くらい用意してもらって。

(事務局)チラシは当日でよろしいですか。

(会長)はい、白黒ですか？

(事務局)はい。

(会長)では、こちらも白黒で準備します。そういう事でよろしくお願いします。花いっぱい運動に何か女性の方ご意見はありませんか。では今回はこういう提案をしていくという事でよろしくお願いします。予算はこれに関してはどのくらい用意してありますか？役場でとった分をまちづくり会社に渡してあると。どのくらいですか？

(事務局)5万円くらいだと思いますが、そこまで使わなくても出来る方法でやっていこうかと思います。

(会長)それについては、また具体的な提案を。それは、寄せ植え講座をどれみの前でやるとかそういったことになるんですね。

(事務局)そうですね。旧Aコープのオープンに向けて、ですね。

(会長)なるほど。よろしいですか。これで花いっぱい運動は終わって、次に確認事項ですけど、その前に、平成30年度の契約につきまして、分科会協議結果や、松崎駅前活性化のブランディング計画、3月に景観づくりや、継続できるイベントの開催方法等協議しながら進めていく、という所をポイントにしておりますが、この辺の考え方が良いかどうかを再度確認しておきたいのですが、ご意見など、要するに景観づくり、継続可能なイベントの開催方法等の協議をしながら進めていくと、足湯につきましては再度ありますけど、一応のメドは立ったと、後はイベント、まちづくりの景観という事を進めていくという事を基本に協議会としては協議していくという考え方です。よろしいでしょうか、皆さん、こんなところで、ご意見を。

(委員)足湯はこれからが大事じゃないか。行政だけでやるのではなくて、(協議会が)関わって、場所とか、これからではないか。

(会長)そうですね。足湯の話は、予算はついた、温泉管理組合のOKができれば、なにか提案が出るという形で捉えていたらいいですね。

(事務局)位置だとか、内容はこれから絞っていかないとはいけませんので、案が出来たら、提案させていただきます。

(会長)足湯の関係が出ましたけど、その他ありますでしょうか。

(事務局)足湯部会の方が継続して検討に参加されるんでしょうか。

(会長)足湯部会が検討して、全体に提案するとか。足湯の関係はよろしいですか。足湯部会で検討していただいて、最終的には全体でという事で。それでは、基本的なことはこれでいいですか、景観づくりと継続的なイベントの開催方法等を進めていくと、要は4つのテーマで、予算に関しては、指定管理費を活用していくという形になります。よろしいでしょうか。では次に、先ほどありました、駅前周辺活用のプランターについてはOKで、駅横観光案内所の環境整備について、これが課題として残ってしまっていて、この辺をどうしていこうかというところを今後協議していこうというところの1つに、現状について事務局から駅前のお話をお願いします。

(事務局)資料4の方に今の観光案内所の現状として写真とレイアウトを簡単につけています。観光案内所の外にはプランターがいくつかあって、花が植えてある状況です。これは、委員さんが植えてくださっているのですか？

(委員)これは最初商工会議所女性部が担当で植えていたし、今も担当者さんがいらっしゃると思います。これと駅のコーナーの中に1つありますし、トイレの横にもあります。

(会長)鍵は誰が持ってるんですか？

(委員)鍵は3つあるんですけど、効かなくなっちゃって、私も1本持ってますけど、戸が合わなくなっていて開いてしまうんです。私も持っていますが、鍵はまだ(他の二人も)持つとられると思います。

(事務局)せっかく駅の横に観光案内所という看板が出ている建物があるんですが、パンフレットも置いてない状態で、総合相談センターの方にパンフレットを置く棚ができましたので、定期的こちらから、駅前の方にパンフレットを置いていただいたらいいかなという事で以前からお話ししていましたが、それに合わせて、例えば写真とか以前からずっと同じものが貼ってあるんですが、この度瑞風の写真を新しく張ってくださっているという事で、今後写真を新しくしていくのか、レイアウトをどうするのか、特にこのままでいいのではという事であれば、このままでいいのではないかなと思うんですけど、パンフレットを置いて行ければいいかなと思っています。で、今回はレイアウトを入れさせていただきました。

(委員)それこそ写真も取った方がいいのではないかと、取って町内の写真でもかけてみたらどうですかという話があったと思うんですが、もう今の写真は焼けてしまった汚くなっているの、日焼けして何年も同じものなので、この際だから全部取ってしまっって新しいものに変えた方がいいと思います。四季折々の写真に変えるのも一つの手だと思います。

(委員)町でコンテストやってないですか。

(委員)写真のコンテストやってるんだったら、四季折々の写真に。

(委員)飾らしてもらったらどうだろうか。

(委員)高いと誰かに盗られるのでは？

(委員)町のコンテストの物をプリントして、プリントだったら、まあ、盗られても仕方ない。

(会長)この辺の整備というか改善というか皆さんの方からアイディアを出していただいて、まあ今日結論出すわけではないので、次回に向けてこんな活用方法があるのではないのか、今回も足湯に関して協議会の中の足湯部会が精力的に努力した結果で出来たと思いますし、役場の方のご尽力もありましたし。

(委員)やる気があるかないかだから。町がやる気があるのであればだし。

(会長)そう思うと、少し本気でやれば、今日結論を出すことはありませんが、これからいろんな意見を出し合っていけばいいと思います。

(事務局)町の方に大きな観光のポスターがあるのでは？観光協会と連携したら何か出来るのではないかと思います。

(委員)観光ポスターなんかを張ると、管理する人がいないと、ざわざわして逆効果。

(会長)今、どれみの人がいるから。

(委員)どれみに任せるのがいいのかどうか、そのために協議会があるのだから。

(会長)そのアイディアを、少しずつしていくという事で、これは即結論を出さなくても、次に向けてでいいです。もともとこれは産業振興課の持物ですか。管理は？

(事務局)産業振興課です。

(事務局)ただ、J Rとの兼ね合いがあって、なかなか活用がされてないという状況があるようです。

(会長)まあ、みんなでアイディアを出し合って、次回に向けて何かご提案をいただきたい、それを濃く議論していくような事でと思います。よろしいでしょうか。続きましてブランディングの関係で、今日は資料を付けてませんが、どんなアイディアで進めていったらいいでしょうか。前回のこの中で取組んでいいようなものを取り出してみたら、これを少し次回に出しますか。少し整理して。せっかくブランディングを出してもらったので、この辺で、伝統を固定化してこういう方針で街路灯を統一化するとか、いろいろありますので、まちづくりを観点での検討するために、この辺を少しテーマを絞って生きたと思いますので、よろしくお願いします。今のところはどうですか。ブランディング。折角いただいたので、もう少し絞ってほしいという、よろしいでしょうか。あと、コミュニティ関係ですが、総合相談センターどれみが出来まして、先ほどお配りした資料をご覧ください、駅前のよどやという場所ですね、防災つどいの場オープンという形にしていますが、今のところ月に1回会合を開きまして、防災関係の拠点づくりをしている、今回まちづくり株式会社の協力を得まして、防災関係の資材関係の置き場をそのAコープの駐車場のコンテナを買って、そこに防災関係の資材を置くようにしました。今日は資料をつけておりませんが、東側のところに、プレハブの倉庫がありますが、そこを防災倉庫として使わせていただくようになりました。そこに、バケツとかスコップ、机とか椅子とか防災設備を整備して、そこにおいています。今回加えてさらに、まちづくり株式会社が非常用の自動販売機を。ご紹介ください。

(事務局)軽トラ市までには、設置する予定にしていますけど、玄関横に非常災害用自動販売機を置きます。

Aコープがオープンしたら、Aコープの方に持っていくんですが、その自動販売機は災害対応で、

電気が停電しても出る販売機で中に残っている数が200本から300本であれば、鍵を切り替えて、住民の方に水分補給としてお配りして、飲んでいただけるという自動販売機を設置する予定になっています。

(会長)24日に試運転しませんか？役場前にありますが、同じものがきますので、どちらかと言えば、防災用拠点にも飲料水関係として、その切り替えの判断は誰がするんですか？

(事務局)それは地元にいる私が、判断して。電話一本で開けられますので。

(委員)この前の中部地震ぐらいでは、出ませんか？

(事務局)条件が厳しいですね。相当な災害でないと。

(会長)そうですね、電源が止まって、供給が出来ないくらいでないと。この辺りを防災の基地的な、防災を中心とした交流が出来ればという形で整備していきたいと思っています。今年に関しては、備蓄関係をAコープの前の倉庫関係に置いたという事で、防災の備蓄と式資材資材の整備をしていき、防災の環境整備をすることによって、交流地点にしていきたいという考えで、防災関係は毎月、月に1回第1日曜日に集まって、幹事会を行って環境整備を進めていっていただきたいと思います。また、ご紹介させていただきます。防災関係で何かご紹介ありますでしょうか？軽トラ市のチラシを先ほどご紹介しましたが、その中で今回防災訓練という事で消火訓練、土嚢づくりとか。ご紹介いただければ。

(委員)はい。消防署の方が2名来て、土嚢づくりの指導をしていただきます。消火器を10本持ってきて、消火訓練の指導と、土嚢づくりの指導をお願いしています。砂とかはこちらで準備します。

(会長)日赤さんが炊き出しで、ケッチャップライスを100食くらい無料で提供するのと、防災通信という関係では、役場と地域の防災無線連絡すること、防災通信を北海道としてみるとかおっしゃってました。トランシーバーで子どもさんが体験されるような事で、防災関係として予定しています。防災に力を入れながら、コミュニティ作りをしていこうという事で、協会といたしましては、防災の方をコミュニティづくりに活用していきたいですが、今後については、日曜日にどれみと一緒に市をやっていくとか、そんなことも必要だなあと考えています。そういうツールとしてご理解いただければと思います。コミュニティづくりについては、よろしいでしょうか。駅周辺の活用については以上で、次にイベント情報発信についてですが、イベントにつきましては再度になりますが、軽トラ市の実行委員長の方からお願いします。

(委員)チラシがレジュメに留めてあると思います。今日新聞には光沢紙で印刷したチラシが入っています。27日9時から12時まで、Aコープ跡地の駐車場を使用し、去年も実施しましたが、去年はAコープの中が少し使えまじので狭い感じはしませんでした、今回は使えませんが、すべて屋外に出ますので、その点ちょっと駐車できない事もありますし、手狭かもしれませんが、去年以上に出店をお願いしています。去年の反省として、食べるものが昼前にはなかったと、言うような声が結構あったものですから、食べるものを重点的に出店していただくようお願いしています。まず、東郷市さんが軽トラ3台で、他商店さんにもお願いしております。それから、フリマ・手芸村というのが、これは去年もしておりますが、たくさん出ていただいて、結構売れたようですので、また、今年もお願いしました。それと、サクラ茶やコーヒの試飲、たいやき、サンドウィッチ、ホットドックもあります、それと夢おはぎで、泊の方がおはぎを作られます。チラシ下段には、やきそば、飲茶セット、ピザ、はなみおこわ、惣菜、等々、出店していただくようにしています。一応、相談総合センターとまつぎき屋のオープンという事で、今日6時15分に町内の一斉放送をさせていただきました。今日、新聞折り込みも入っていることですので、タイミング的には良かったかなと思っています。主催が松崎駅前軽トラ市実行委員会、共催が、活性化協議会、まちづくり会社、区長会、自主防災会という事で、非常にたくさん共催していただきました。で、後援に湯梨浜町という事でご了解をいただいておりますので、よろしくお願ひしたいと思っています。駐車場は全く

ありませんので、選果場のところに駐車をしていただくと、軽トラでいらっしゃる方は、軽トラ1台止められるようにテントを張るという事で、大テント7つ、小テント3つ、併せて9あります。そういうテントを張っていきたいと思います。土曜日に大テントの骨を組んで、当日はシートを張るという感じにしたいと思っています。また、応援の方もよろしくお願ひしたいと思っています。何か軽トラ市について、皆さんの方からご質問等ありましたら、答えられる範囲で。

(会長)セレモニーが9時半からやる予定です。中央で、その席には町長が来られますし、まちづくり株式会社社長、地域の区長さん、実行委員長とイベントを予定しておりますので、よろしくお願ひします。

(委員)悪天候で中止なんてないでしょう。

(会長)今のところは大丈夫だと思います。降っても小で、今のところはやる予定です。やはり、協議会がないと出来てないと思います。で、今回は協議会主導になりますが、今後のイベントなどについては、ここでやる事については、まちづくり会社を中心だと思いますので、協議会の方は応援とか支援という形になっていくと思いますので、秋に向けましては、このツールを使いながらやるので、まちづくり会社中心でお願いできないかと思います。いかがでしょうか。

(委員)まちづくり会社に了解を取らないといけないのでは？

(会長)今回は協議会がやりましたけど、もうスペースがありませんから、やってもらわないといけないと思ってますけど。そういうスタンスですけど。

(事務局)こういう大規模なことは無理ですけど。

(委員)日常業務があるから、ここも。

(会長)協議会の役割は道付けをしたという事で終わりだと思ってますが。この辺はよろしいでしょうか。

(事務局)どちらにしても、A コープがオープンしたら、定期的にイベントは何か考えていこうと思っていますので。無理のない範囲のイベントにはなってきますけど。

(会長)今、資源を何も無いのにやるのは難しいけど、まちづくり会社の資源を使ってイベントをやるんでしょ、オープン後は。それを協議会がやるのは、おかしいと思います。協議会は完全ボランティアですから。あくまでも道筋をつくったと。

(委員)まちづくり会社とすり合わせをしないと。ここで、ぱっと言ってしまうと完全にしないといけないから。

(会長)(すり合わせが必要) そうだと基本的には思いますが。

(委員)まちづくり会社は営利目的だから、基本的に。だけど、町おこしについては関与していかなくては行けないと、そのの所を社長とすり合わせした方がいいんじゃないかと。

(委員)11月4日の昼からにしてください、オープンを。松崎の元気祭りがあるので、調整が出来るようなら。

(事務局)4日元気祭りなので、9日くらいを内々のオープンに希望日にはしてるんですけど。パッティングしないようにしますで。

(会長)とても主導は出来ないと思います、協議会として。本当にボランティアでかなりの資料を作ります。手続きにしても。ですから、基本はまちづくり会社と私は思っています。

(事務局)いえいえ・・・会社の出来る範囲で、そこは。

(会長)という事で、よろしくお願ひします。ほんとに今回も広告宣伝費だけです、ちょっと考えられないと思います。これについては、協議します。足湯についてはよろしいですね。今後役場の方で提案していただいて、向かえる方を検討して、全体を。

(委員)足湯については、A コープがオープンして、交流を促進するためのツールとして、必要ではないかと無理を言ったところもありますけど、結構足湯を活用しておられる方も多いですし、いいモノだったらなと、よろしくお願ひいたします。中途半端なものでなくて・・・。

(会長)以上ですけど、よろしいでしょうか。平成30年につきましては、後はブランディング計画と景観づくりを中心に、協議していききたいと思います。今回はブランディング部分を少し整理してという事でご提案したいと思いますので、よろしくお願いします。よろしいでしょうか。1点だけ、昨年9月にまちづくり会社の方から、マルシェ関係についてアンケート調査が、特に区長さんや班長さんを中心に実施されました。その結果について集約したデータは協議会なりにありますけど、地域の声としては何らかのアンケート調査をしたことへの集約なり、アンサーを出していただくべきだと思いますが、それについて、皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。昨年全戸に配布、多分半分くらい回収して、区長さんとか班長さんとかにお手数をおかけしたんですが、アンサーをお返ししていないので、これについて、出した物についてどういう風に反映したとか、そんなところを出していけばいいのではと思うんですが、何か。

(委員)アンケートをとられて、どういう反映をしたかと？

(会長)そうです、それは出すべきではないかと思いますが。そういう声もありますし。という事でよろしくお伺いしたいともいます。

(委員)結論は運営に活かすという事？

(会長)どういう風にしたかという事です。アンケート調査をしたけど、どういう風に使いますとか、使いましたとか。

(委員)どういう風な結果でしたとか？

(事務局)まだ結果は出ておりませんので、検討中なので。最終的に中身が決まった段階で、どういう所が反映できたのか、こういう問題があってそれが出来なかったとか、そういう所の監査は出来ると思うんですけど、現時点では回答できる状態ではありません。

(会長)それはされるという事ですな。

(事務局)最終的には。

(会長)ただ、期間が経っているものですから。今発注のかかるタイミングにはちょうどいいと思います。という事でよろしくお願いします。今回は観光案内所辺りの活用とブランディング計画、これは早めに何か出しますね、という事で。それと、会議の開催を1か月に1回していましたが、2か月に1回に変更したいんですが、少しスローで展開していききたいと思いますがいかがでしょうか。奇数月で、奇数月開催という事に変更したいと思いますので、よろしくお願いします。

(委員)資料3にイベント情報の発信という所ですが、春と秋にオープニングイベントを開催するという事で、旧Aコープオープンイベントは、どういう風に考えられていますか？私はダンスがやりたいんですが。

(事務局)これから、オープンイベントだったり、オープン後のイベントについてもこれから検討して詰めていきたいと思いますが、そのダンスの件もまた、打ち合わせさせていただいて。

(事務局)ちょうど今日そういう話も出ておりましたので。

(事務局)他のイベントとも調整しながら取組んでいきたいともいます。

(会長)では、次回場所はどれみでいいですね。以上ですが是非みなさんも軽トラ市にいらっしゃいましたら、お手伝いのご協力の方よろしくお願いします。

(委員)いろいろとご協議いただきましてありがとうございます。どれみもまつぎき屋もオープンいたしまして、なんとか、軌道に乗っていただかないとAコープの活用も難しくなってくるような気がします。オープンしますけど、これで終わりという事ではなくして、どれみとお試し住宅のまつぎき屋を何とか持ち上げていただきたいて、そのために軽トラ市もやる訳ですので、皆さんの個々の力を発揮していただいて活性化協議会がますます活性化するようにとお伺いしたいと思います。どうか今後ともよろしくお願いします。

(会長)以上です。ありがとうございます。

次回開催：7月23日(月)19:00～ 場所：どれみ

以上